

TOPICS

みやざき物産館 KONNE
ディスプレイについて

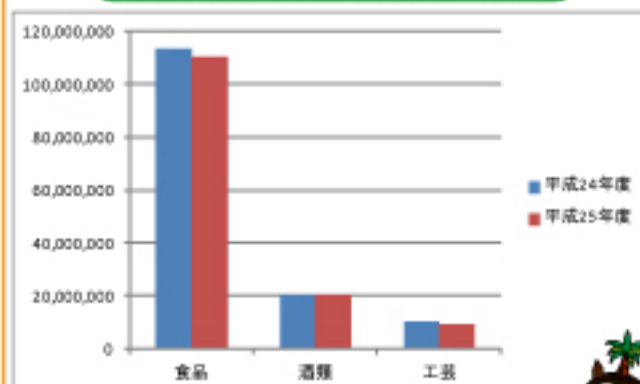
今回のディスプレイのテーマは「宮崎・旅する」です。
宮崎の宝である観光地（えびの高原、お大師さん、神楽、青島など）をショーウィンドいっぱいにアクリル絵の具で描き、各地を観光旅行してる旅人を陶器で表現しています。

みやざき物産館の
6～11月の売上情報

みやざき物産館 KONNE の平成 25 年 6 月～11 月の売上をみると、全体で前年比 98% と言う結果となりました。

食品では差切り茶や精肉の他、試食販売の効果もあり冷蔵の鶏肉が売上を伸ばしています。酒類は清酒・地ビールなどの売上が全体的によく、工芸については記念品などの数が多いご注文があり売上数は前年比 7% 増でした。金額は前年を下回りました。
(営業課 濱田)

みやざき物産館の 6～11 月の売上比較



毎度ありがとうございます！

営業課
日野 梨子

今年の 7 月からみやざき物産館 KONNE で勤務をさせていただいています日野梨子です。

生まれも育ちも宮崎ですが、まだまだ宮崎について知らないことがたくさんあり、日々勉強になっています。

高校サッカー・高校野球・みやざき犬のダンス選手権優勝と皆、頑張っているの、私もどんどん宮崎県の文化や美味しい食べ物をアピールしていき、気配りある接客を心がけたいです。

どうぞ宜しくお願いします。

(上司からのコメント)

明るく大きな声が印象的な日野さんです。趣味は絵を描くことだそうです。特技をぜひ売場にいかしてほしいです。

これからまだまだ大変なことがたくさんあるかもしれませんが、持ち前の明るさで毎日お客様に気持ちよくご購入していただけるよう、がんばっていきましょう！期待しています！！
(営業課 前田)

香港事務所
冼 瑞 晶
(キャット)

皆さん、こんにちは。香港事務所の副所長 Cat と申します。5 月に入社して、あっという間に三ヶ月が過ぎました。初めての大きなミッションは香港で行われた開所式でした。知事をはじめ、宮崎から来られた 150 人規模の訪問団の皆様と、香港でお会いできたのが嬉しかったと思っております。

これから地元の香港人に宮崎の事をもっと知ってもらいたい、宮崎の美味しい物をたくさん味わってほしいと思いますので、事務所の活動を通じてその役割を果たしたいと思っています。これからもよろしくをお願いします。

(上司からのコメント)

Cat 副所長は、在日 11 年以上で日本語も堪能なうえ、日本の慣習にも精通しておりますので、お気軽に、お問合せやご相談をしてください。

(香港事務所 水田)

会員の皆様からのコラム・ご意見等を募集しています！

会員の皆様からの物産貿易振興センターに対するご意見や、商品開発、貿易等につながるエピソードなどをお待ちしております。体裁は自由です。FAX、郵便またはメールでどうぞ。

発行 公益社団法人 宮崎県物産貿易振興センター

〒880-0804 宮崎市宮田町 1 番 6 号 泉庁 8 号館
TEL: 0985-22-7389 FAX: 0985-22-7497
URL: <http://www.m-tokusan.or.jp/>
E-Mail: info-00@m-tokusan.or.jp



宮崎県物産貿易振興センター NEWS

Miyazaki Local Products and Trade Promotion Center News Paper

Vol.44

高島屋日本橋 日向自慢みやざき展

9 月 18 日から 9 月 23 日までの 6 日間、高島屋日本橋店において、「第 26 回日向自慢みやざき展」を開催し食品、酒類、工芸含めて計 69 社の皆様が出演しました。

今回は高島屋日本橋店開店 80 周年記念の特別限定品の提供や、宮崎牛特集、宮崎どんぶりコンテストの開催、携帯オンラインゲーム「天下統一クロニクル」とのコラボ企画で物産展全体を盛り上げました。

出展企業数は例年に比べ 4 社増えましたが、全体の売上は 68,907 千円と前年比の 97.7%、予算比の 94.4% となり、売上では若干苦戦しました。これは、今回初めて取り組んだ、企画の集客効果が期待どお里では無かったことや、会期 3 日目に東京駅八重洲口近くに商業施設「グランルーフ」がオープンになったことが要因と思われます。しかし、会場については、各出展企業それぞれが特別限定品の準備や振る舞い等の企画を行った事で盛り上がりがある会場づくりができたと思います。

次年度に向けても、皆さまの御協力を頂きながら、

新しい企画を考え、さらに盛り上がる物産展になりますよう努力して参りたいと思います。

(営業課 乙守)



楠並木 KONNE 市

今年度の楠並木 KONNE 市は第 55 回を 9 月 24 日～9 月 27 日に、第 56 回を 11 月 12 日～11 月 15 日に県庁前楠並木通りにおいて開催しました。お天気に恵まれ、会期中は多数のお客様にご来場いただきました。売上は第 55 回は前回並み、第 56 回は出展企業数が減少したにもかかわらず、売上を確保できました。これは第 56 回では、新たな試みとして近隣市街への新聞折込チラシを入れた効果があったものと思われます。

楠並木 KONNE 市は歩道で行うため、色々な制約がありますが、今後とも皆様の積極的なご出展をお待ちしております。

(営業課 濱田)



ひむか市場みやざき味くらべ

9 月 28 日から 10 月 6 日までの 9 日間、宮崎空港のオアシス広場において、「第 16 回 ひむか市場みやざき味くらべ」を開催し、食品、酒類の計 24 社が出演しました。

今回は、昨年と比べ会期が 2 日間長かったものの、全体の売上は 9,552 千円と昨年 (10,888 千円) より厳しいものとなりました。

これは、会期中の悪天候や、県内で行われるコンベンション等が少なく空港利用のお客様が少なかったためだと思われます。

会場では、出展企業の皆様が積極的にお客様に声をかけたり、試食を行ったりして、宮崎の食文化や安心・安全な県産品を十分PRしていただきました。

次年度に向けては、出展企業のアンケートを踏まえ空港ビルと協力しながら、盛り上がりのある物産展を開催できるよう努力してまいります。

(企画課 上原)



みやざき物産館ミニアンテナショップ

当センターでは、県産品の販路拡大を図るため、県の口蹄疫復興対策運用型ファンド事業を活用し、イオン福岡東ショッピングセンター（福岡県糟屋郡志免町）内に「みやざき物産館ミニアンテナショップ」を10月24日（木）から11月17日（日）までの期間限定で設置しました。

同ショップでは、出品を希望した食品50社の約170品目（鶏の炭火焼、チキン南蛮、肉巻きおにぎり、ゆず加工品等）を陳列し、販売しました。

オープニングの4日間にはJA宮崎経済連の協力により、きゅうり、ピーマン、さつま芋などの販売を行い、また、他の週末にはみやざき犬「かあくん」を登場させるなど、「みやざき」のPRに努めました。

このアンテナショップにより、鶏の炭火焼やゆず加工品などは根強い人気があること、また、試食販売が売上向上に一定の効果があることなどを実感することができました。

25日間という短い期間ではありましたが、十分県産品のPRができたのではないかと思います。

（企画課 松下）



ファベックス関西・食品の販路開拓セミナー

去る9月11日（水）～13日（金）に、インテックス大阪で開催された商談会「ファベックス関西」に宮崎県ブースを出展し、県内食品・酒類企業5社が参加しました。

主催者の発表によると、外食産業、商社、卸、食品メーカーを中心に合計で24,510名の来場者がありました。

今回は、業務用専門の見本市ということで、各企業が新たな顧客の開拓するため、積極的に試飲や試食をされていました。

また、ファベックス関西に先立ち、商談成功の為のノウハウを学んでいただくことを目的に、7月25日（木）にITOU企画代表の伊東正寿氏をお迎えし『食品の販路開拓セミナー』を開催しました。

当日は、多く団体、企業の方々にご参加いただき、セミナー内容について大変参考になったという声をいただきました。

今後も、食品関係企業の販路開拓への取り組みを支援するために、大規模商談会への宮崎県ブース出展やセミナー開催を行いますので、是非ご活用ください。（企画課 上原）



県産品販路開拓コーディネーター個別情報交換会

当センターでは、首都圏における県産品の販路拡大を図るために、6月から新宿みやざき館 KONNE に配置した「県産品販路開拓コーディネーター」を県内企業に活用してもらうため、8月6日、7日と11月12日、13日の2回にわたり横山コーディネーターとの個別情報交換会を宮崎で開催しました。

首都圏における販路開拓を目指す企業28社が、売り込みたい商品の情報をコーディネーターに説明し、目指すべき販路や売り込み方について、情報交換を行いました。

現在、コーディネーターは情報交換会等で企業から収集した情報を首都圏の百貨店やスーパー等へ提供し、県内企業との商談の機会を設定すべく活動を行っています。

今後とも個別情報交換会を開催するとともに、随時、県内企業と首都圏の流通企業等とのパイプ役として活動してまいりますので、コーディネーターを積極的にご活用いただきますようお願いいたします。（企画課 松吉）

問合せ先：県産品販路開拓コーディネーター 横山
（新宿みやざき館KONNE 電03-5333-7764）



新宿みやざき館 KONNE 通信



寒さが厳しさを強める冬も本番に入ってきました。

さて、新宿みやざき館 KONNE では、11月の売上は若干ですが前年を上回りました。また、外販でも近隣に留まることなく、かなりの遠隔地までに及ぶ広域活動を行っています。

また、12月からチーム制によるモチベーション企画の実行という新たな試みを始めました。各月に存在する購買のモチベーションをチーム毎に担当し企画を立案するという試みです。12月はお鍋とクリスマスの特集を組みました。お鍋はKONNEがオリジナル具材を提案したトマト鍋と、冷や汁を活用したみそ田楽風鍋の2種類をご紹介します。正面スペースで展開したことで注目を集め印象づける事ができました。

また、クリスマス特集は3日間をコア期間とし雰囲気作りには比重を置いたものになりました。サンタに扮し鶏肉製品を販売したり、オリジナルデザートを限定数量で販売しどれも好評を得ておりました。中でもみやざき犬むうちゃん登場では熱心なファンの方に囲まれたり、通行人の方も足を止めて写真を撮るなど、集客力に大きな力となりました。はじめは試行錯誤で出発しましたが、やり終えたあとの商品紹介PR手段がさらに魅力的になると考えています。



インターンシップを終えて ～この夏（9/2～6）センターで就業体験をされた皆さんです～



5日間、貴重な体験をさせていただきありがとうございました。何もかも初めてのことでばかりで緊張していた私に皆様は温かくご指導してくださいました。実際に経験してみると頭の中で想像していたものとは異なり、笑顔や気配りの大切さに改めて気付かされました。また、実際に就業している方々からいろいろな話を伺い、活気に溢れた雰囲気に触れることができたことは、就職活動中の私にとって大変勉強になりました。この5日間で学んだことを就職先で生かしていきたいと思っています。忙しい時間を割いて貴重な体験をさせていただき、心から感謝しております。

（南九州短期大学2年 永田 亜友美さん）



宮崎県物産貿易振興センターで5日間のインターンシップ研修をさせていただきありがとうございました。短期間ですけれども、私はいろいろな勉強ができました。一番感心したのは、お客様に満足や感動をさせることです。それを感じたのは、お客様が支払をするとき、スタッフが商品の賞味期限を気付かせることです。皆さんの思いやりがとても素晴らしいです。私は自分自身の足りないところを見つけました。私はお客様の対応が好きですが、お客様が多いとき、いつも慌ててしまいます。お店のスタッフたちの落ち着いた姿を見て、良い勉強になりました。

（南九州短期大学1年 林 静さん）



5日間のインターンシップが終わり、物産館に対して初め抱いていた印象とは180度違いました。ただ単に宮崎で宮崎のモノを販売しているだけでなく、他県で物産展を開催したり、また海外にも支店があるなんて知りませんでした。いろいろなことをしているぶん、大変だと思います。でも、そのぶんやりがいがある、すごく素晴らしいお仕事です。12月から就活が始まります。今回吸収したものに自信をもって頑張りたいです。短い間でしたが、大変お世話になりました。ありがとうございました。

（宮崎公立大学3年 石井 沙織さん）



インターンシップでの5日間を通して、物産館に並んでいる一つ一つの商品にはそれぞれ製造や流通などの多くの人々の手によって作られていて、様々な思いが込められていることを知りました。また、宮崎の県産品を国内外にPRするために物産展等の幅広い事業を行っていることも知りました。日常で何気なく見ている物事には、多くの人や物が関わっていることを忘れてはならないと思いました。宮崎県物産貿易振興センターの皆様、5日間ありがとうございました。おかげで貴重な経験をすることができました。

（宮崎大学3年 手島 彰平さん）

香港フードエキスポ2013



8月15日～17日の3日間、香港で開催された国際食品見本市「香港フードエキスポ2013」に宮崎県ブースを出展しました。本見本市は、世界各国のバイヤーと商談の機会を得られる場となっており、主催者（香港貿易発展局）の発表によりますと、今回の全体出展者数は26カ国・地域から1,145社・団体、バイヤーの来場者数は63カ国・地域から19,668人でした。

本県は今回が5回目の出展となり、日本貿易振興機構（ジェトロ）が設置した日本パビリオンに、5企業が参加、各社とも装飾や試食等に工夫を凝らして商品のPR、商談を行いました。当センターとしましては、今後のアフターフォローやサポートに努めてまいります。

（企画課 山本）



8月香港・シンガポールプロモーション



県は、農産物をはじめとする県産品の輸出促進のため、8月に香港及びシンガポールにおいて、知事によるトップセールスを実施しました。

香港では、宮崎からの直行チャーター便による訪問団を派遣し、香港事務所オープニング式典や、現地スーパーでの宮崎フェア、県産品・観光誘致等の宮崎PRレセプションを行い、香港の関係機関との交流を図りました。

シンガポールでは、現地ホテルでの県産品・観光誘致等の宮崎PRレセプションや本県食材を使った料理をメニューに取り入れるレストランフェアなどを実施しました。

今後、東アジアへの輸出促進のため、各種の事業を実施していきますので、企業の皆様の積極的なご参加をよろしくお願いします。

（企画課 立山）



海外ビジネスセミナー

「東アジアの経済トレンド最前線」を開催

8月5日（月）宮崎駅前 KITEN ビルにおいて、国際東アジア研究センターの戴二彪氏、中小企業基盤整備機構の太田光雄氏を講師にお招きし、中国への進出や販路開拓に取り組もうとする企業を対象に講演を行い、多数の企業、団体の方々にご参加いただきました。

前半の講演は、マクロ的視点から見た中国の経済動向や今後の課題、後半は中国への加工食品輸出に関する規制や具体的方法、リスクヘッジ等を教示いただきました。

本セミナーに参加した方々からは、今後、東アジアへ向けて販路を拡大していく際の参考となったという声をいただきました。当センターでは、今後も本県企業の販路開拓への参考となるセミナー等を開催していきます。

（企画課 山本）



「宮崎フェア in 台湾（台中）」事前講演会 開催

今年11月に台湾スーパー「裕毛屋」で開催した「宮崎フェア in 台湾（台中）」に出展する企業を対象に、去る7月18日「宮崎フェア in 台湾（台中）」事前講演会を開催しました。

講演会では「プレミアムな日本食材を扱うスーパー裕毛屋～商品の安全・安心・健康・自然～」をテーマに、本社「瀬裕源」の謝社長、大賀副社長から台湾市場の動向や裕毛屋の経営方針等について詳しく紹介いただきました。

参加企業の中には、実際に商品を見ながら商品売り込み商談される様子も見受けられました。

（企画課 柏木）



宮崎県香港フロンティアオフィスについて

「宮崎県香港フロンティアオフィス」は、本県企業が香港への輸出の足掛かりとして利用してもらうことを目的に、今年、香港事務所に6ブース設置しました。

1ブースの広さは約2.7㎡で、机、椅子、キャビネ、プリンタ、インターネット環境などの設備が完備されており、利用料は1ブース月額25,000円です。

現在は、本県企業4社が香港での販路拡大のための拠点として利用しています。

（企画課 立山）



中国（上海）バイヤーとの食品輸出商談会

9月10日中国（上海）からバイヤーを6名招へいし、宮崎観光ホテルで食品輸出商談会を開催しました。県内からは企業12社が参加し、各社工夫を凝らして試食・試飲等を実施しながら商談を行いました。商談においては、中国消費者向けの商品開発や改良、輸出コスト等、バイヤーからの依頼やアドバイスもあり、企業にとっては今後の展開の方法が見えてきたようでした。

商談会後は、当センター上海事務所と連携し、継続商談等の支援を行っています。今後も本県企業の海外販路拡大につながる事業を展開していきます。

（企画課 山本）

